



2025年5月9日

日本鉄道労働組合連合会

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第20回総会を開催

JR連合は4月22日、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」の第20回総会を開催し、国会議員はじめ、総勢約100名が参画した。



総会の冒頭、議員フォーラムの榛葉賀津也會長（参議院議員）は、「今週4月25日で福知山線事故から20年。改めて安全・安心なJRが求められている」と挨拶し、荻山市朗会長（JR連合）も「JRはこの一年、各地で信用を損なう事象を発生させた。改めて安全確立に取り組む」と決意を述べた。

「今週4月25日で福知山線事故から20年。改めて安全・安心なJRが求められている」と挨拶し、荻山市朗会長（JR連合）も「JRはこの一年、各地で信用を損なう事象を発生させた。改めて安全確立に取り組む」と決意を述べた。

第50回衆院選を経て17名の国会議員が加入！



議事は小川淳也事務局長（衆議院議員）が司会を務め、最初に新規加入議員17名（衆16名、参1名）を確認。その後事務局からは、JRの不安全事象について説明し、改めて安全確立に注力することを報告した。

政策課題は、「JR二島貨物の経営自立」「持続可能な地域公共交通の確立」「高速鉄道・新幹線ネットワークの構築」に取り組むこと提起し、組織課題は、今後の国会審議も予定される「労働基準関係法制の見直し」に向け取り組むことを提起した。議案は出席議員の満場一致の承認を受け、連携して課題解決に臨むことを確認した。

最後は伴野豊副会長（衆議院議員）が閉会挨拶を行い、総会を締め括った。総会を経て、本議員フォーラムは衆参67名（衆47名、参20名）の体制となった（詳細はJR連合HP参照）。



懇親会では泉健太副会長（衆議院議員）が乾杯を発声するとともに「北海道・東日本地域においても議員フォーラムの輪を広げよう」と呼び掛け、選出エリア毎のテーブルに分かれた国会議員とJR連合・各単組役員とで交流を深めた。